

文部科学省の教育環境整備事業（GIGAスクール構想の実現）によって、児童生徒が一人一台のタブレット端末を利用して学習を行うようになります。

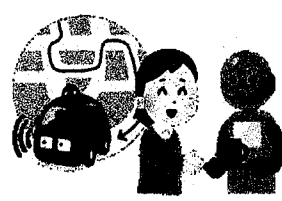
子どもたちが歩む未来は...

ソサエティ

Society 5.0 と呼ばれる新たな社会です。



...IoT (Internet of Things) で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これまでの課題や困難を克服していく社会。



AIにより必要な情報が必要な時に提供される
人とモノが繋がり新たな価値生まれる

様々なニーズに対応できる

ロボットや自動車走行などの
技術で、人の可能性が広がる

新しい教育環境は、誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与します。また、子どもたちがパソコンなどのICT機器を適切・安全に使いこなすことができるようネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していくことも今後は重要となります。

現在

これから

- PC室で共有して一台を利用
- 学校でのICT利活用は世界から遅れている
- パソコン=特別な道具
- 学習の個別対応が難しい
- 筆記や面接での入試



- 一人一台のPCや高速インターネットを整備
- 時代に取り残されず、世界に遅れをとらない
- 子どもたちの可能性を広げる学校作り
- タブレット端末=学習の際の当たり前の道具
- 学習の個別最適化が可能
- 2024年度～大学入試CBT方式 ※1

情報教育に関わる変革計画

文部科学省: <https://www.mext.go.jp/>

2020年度

小学校
プログラミング
教育必修化

2021年度

中学校
技術家庭科
プログラミングに
関わる内容を拡充

現小6が中1の時から

2022年度

高校
「情報Ⅰ」
必修化

現中2が高1の時から

2024年度

大学入試
CBT方式※1
(パソコンでの
試験) 導入予定

現中2が高3の時から

※1 CBT方式...Computer Based Testingの略。コンピュータを使ってマウス操作やキーボード入力にて回答する形式。